

令和2年4月1日に思う

なんとも気が重く、憂うつな桜シーズンです。

ぼかぼか陽気に誘われて「花見で一杯」の気分が、いとも簡単に壊されています。

新型コロナウイルスが蔓延^{まんえん}し、深刻度が増しています。そして、世界最大のスポーツイベント・東京オリンピックの延期が決定し、日本国中に激震が走りました。株価は暴落し、世界経済に先行きの見えない大きな暗い影を落としています。まさに“想定外”であり、世界レベルでの緊急事態であります。“想定外の出来事”で、私が勝手に思いこんだのは自然災害によるものであり、今回認識を改めさせられました。

歴史をたどれば、人類はウイルスや細菌による感染症との闘いでありました。ワクチンの開発には1年ぐらいかかるとの見通しのようですが、人類の英知をしぼり、1日も早い終息宣言を祈るばかりであります。

一方で、コロナウイルス対策に万全を期しながらも、「**水源地の村づくり・都市にはない豊かな暮らしを築くことは待ったなし!**」であります。

新年度は、保育園並びに義務教育学校施設整備事業を着実に進めながら、「居ごこちを整えること」として、かわかみらいふを主に、暮らしを支えることにしっかりと取り組みます。光ファイバーケーブルにより整備した通信網を、防災面や福祉面でも有効利活用し、倒木による停電対策にも取り組みます。また「新しいつながりを求めること」として、仕事や住まい、教育、子育て支援をリンクさせた「川上ing 作戦」をさらに強化し、若者定住移住施策をより一層推進します。ご理解とご協力を宜しく申し上げます。

「まずは感染予防のため、マスク、手洗い・うがい、消毒の励行を！」